

人も動物も健康的で楽しく過ごせる毎日を、薬膳で

2022.07.28

医療関係

中医薬膳師 オンライン(eラーニング)コース



当学院:簡単な自己紹介をお願いします。

梅原さん:中医薬膳師オンライン(eラーニング)コース受講中の梅原孝三(うめはら たかみ)です。宮城県仙台市で、中医学と西洋医学を合わせて診療する中西結合獣医療を東北ではいち早く導入した動物病院「仙台プラム・アニマルクリニック」を開業しています。

また「PYIAペット薬膳国際協会」の代表も務めており、日本や中国、台湾、韓国などで「ペット薬膳管理士」の養成講座を開催しています。



当学院:薬膳を学ぼうと思った動機、きっかけを教えてください。

梅原さん:動物病院を開業した頃、手作りの食事を愛犬に与えるのが日課でした。ある日ふと、学生時代から学び続けている中医学と、得意分野の栄養学が重なる部分があることに気がつきました。薬膳です。

当時は動物に与える手作りの食事は、残飯のようなネガティブなイメージしかありませんでした。しかし私は独学で研鑽を重ね、自信を持って犬に与える薬膳を「犬薬膳」として実践し、試行錯誤しながらもその有効性を実感し継続してきました。そして2014年、同じ志を持つ獣医師十数名と「PYIAペット薬膳国際協会」を立ち上げることとなりました。

このように無我夢中で診療を続け、気がつくと開業してから20年以上が過ぎました。最近では東洋医学、中医学、薬膳という言葉がメディアやSNSでもよく耳にするようになり、ふと、薬膳の基本をもう一度学び直し、しっかりと基礎固めをしようと思立ちました。



当学院:日本に薬膳を学ぶ学校は増えていますが、その中でも本草薬膳学院を選んだ理由、学院ならではの魅力は何ですか。

梅原さん:自学自習を続けるには良質な書籍は欠かせません。

以前から薬膳と題名の付く書籍を読み漁る中で、辰巳洋先生の著書が自然と増えていきましたので、先生のお名前はよく存じ上げていました。そして国際中醫師の試験会場で初めて辰巳洋先生をお見かけして以来、機会があれば先生の元で勉強したいと思っていました。

今回、学び直そうと思立ったと同時に、辰巳洋先生と本草薬膳学院の名前が浮かび、一択でした。



当学院:学習の中で最も印象深かったことはどんなことですか。

梅原さん:ひとりで黙々と勉強することに慣れてるとはいえ、日々の仕事に忙殺され、オンラインテキストの進捗が遅々として進まない中、今年の3月に行われたスクーリングは良い刺激となりました。

同期生と3日間、机を並べ、調理をする中で、同じような思いを抱いていた仲間と「頑張ろうね!」と声の掛け合いが出来ました。でも、楽しい思い出で終わってしまわないように、同期の仲間と連絡を取り続けています(笑)



当学院:本草薬膳学院で学んだことを現在どのように活かしていますか。また、今後どういった活動をしていきたいですか。

梅原さん:本草薬膳学院のカリキュラムは薬膳学のみならず、基礎中医学も深く学ぶことができるので、まずはこちらで学んだ知識と技術をしっかりと身に付け、今まで以上に正しくわかりやすい中医学、薬膳学を皆さんに解説できるようになりたいと思っています。

先に述べましたが、私は日本や海外で「ペット薬膳管理士」養成講座の講師を務めています。また獣医師を対象に鍼灸治療を中心とした中医学を教える学校長も務めていますので、受講生さんから質問を受ける機会が多くあります。受けた質問に、より正確な回答ができるようになることを目標としています。

そしてこれからも多くの方に、人も動物も中医学、薬膳学を通して養生し、健康的で楽しく生活できる方法を広めていきたいと考えています。

